

韓国の医学図書館見学報告

河合富士美¹⁾、阿部千恵子²⁾、天野いづみ³⁾、磯野威⁴⁾、岩下愛⁵⁾、小川禮子⁶⁾、木村博⁷⁾、
熊谷智恵子⁸⁾、成田俊行⁹⁾

¹⁾聖路加国際病院医学図書館、²⁾群馬県立小児医療センター図書室、

³⁾日本赤十字社医療センター図書室、⁴⁾国立保健医療科学院、

⁵⁾国立国際医療センター図書室、⁶⁾女子栄養大学図書室、⁷⁾日本医学図書館協会事務局、

⁸⁾虎の門病院図書室、⁹⁾元埼玉県立がんセンター図書室

【はじめに】

我々は、昨年札幌で開催された非特定営利法人日本医学図書館協会総会において来賓のKMLA 朴貞姫理事長、顧問の金宗會先生とお話する機会を得たことをきっかけに、韓国の医学図書館見学および観光目的で 2009 年 2 月にソウルを訪問した。金先生にご案内いただき、ソウル市内の医学図書館を見学してきたのでここに報告する。

【高麗大学医学図書館】

高麗大学は 7 つの図書館を持つ総合大学である。医学図書館は、1972 年 2 月開館、1991 年 3 月に移転して新築された。この図書館は、医科大学校友会募金と財団の支援で運営されている。建物は医療院と医科大学の中央に位置し、4 階建てで 600 席余りの閲覧室がある。

【高麗大学 CDL: Centennial Digital Library】

2005 年 5 月に開館。開校 100 周年記念三星館内に位置し、地下 1 階・地上 4 階のデジタル図書館。電子情報とマルチメディアサービスの中核的役目を遂行している CDL では、膨大なデジタルコンテンツと多様なマルチメディア関連プログラムを活用することができる先端施設と設備が取りそろえられており、学生のデジタル教育実習施設としても活用されている。

【ASAN Medical Library】

1989 年に創設され、2004 年に新館に移転した。医学・薬学研究に資するため、1.8 万冊の図書、医学雑誌 1,100 誌などを所蔵する小規模ながら綺麗で機能的な病院図書館である。図書館のプラットフォームには、One-stop Service, PubMed DDS, Database Searching Service, SDI Service, Instruction Service, Proxy Service, PDA Service, Video Service などのサービスが挙げられており、サービスに力を入れて運営されていることが伺えた。

【カトリック医科大学附属図書館】

カトリック医科大学附属図書館は、大学建物の 2 フロアを占める大学としては規模の小さい図書館である。しかしながら、インテリアやサインが非常に斬新で、コンピュータ設備も整っており、美しく機能的な図書館という印象であった。

【おわりに】

1 日で 4 館を訪問するという強行スケジュールのため、細かな点は尋ねる時間がなかったのが残念であったが、いずれの図書館も建物・設備が素晴らしく、特にコンピュータや電子情報環境に優れているという感想を持った。